

令和5年度シラバス

教 科	科 目	単位数	履修学年・クラス
商 業	情報処理	3	2-2、2-3

1. 学習の到達目標

- ・商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成することを目指す。
- ・表計算ソフトウェアを利用して、情報を収集・整理して分析・伝達するなどの活用に必要な能力と態度を育てる。
- ・全商情報処理検定試験3級合格を目標とする。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none">・コンピュータの基礎知識・技術の学習・ハードウェアに関する知識・ソフトウェアに関する知識・通信ネットワークに関する知識・情報モラルとセキュリティに関する知識・表計算ソフトウェアに関する知識・データベースソフトウェアに関する知識・Microsoft Excel の基礎的な実技演習	<ul style="list-style-type: none">・表計算ソフトウェアの特徴を理解し、基本操作ができるようにする。・合計、平均、最大値、最小値、判定、件数カウント、端数処理、順位付けや日付などの関数を利用できるようする。・グラフを用いて表のデータをわかりやすく表現できるようにするために、グラフの基礎知識や作成方法を学ぶ。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none">・全商情報処理検定試験3級受検のための練習（実技・筆記）・検定問題演習・3級の項目の応用・活用。・ハードウェアに関する知識（応用）・ソフトウェアに関する知識（応用）	<ul style="list-style-type: none">・コンピュータに使われるのではなくコンピュータを事務機器として使いこなすこと目標とする。・基本的な関数を活用して、目的に応じた適切な表で表現するための技法を習得する。・表計算ソフトウェアの機能を活用して、目的に応じたグラフを作成するための技法を習得する。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none">・全商情報処理検定試験3級受検に向けた模擬練習・通信ネットワークに関する知識（応用）・関数 VLOOKUP・HLOOKUP の演習	<ul style="list-style-type: none">・3級検定受検後、全商情報処理検定試験2級ビジネス部門の受検に向けての内容を実習する。

3. 評価方法・評価の観点

評 価 方 法	3つの観点のもと、考查・提出物等授業態度による評価
---------	---------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	企業において情報を扱うことについて実務に即して基本を体系的・系統的に理解するとともに、関連する基本的な技術を身に付けている。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	情報処理（実教出版）
副 教 材	学習と検定 Excelで学ぶ全商情報処理検定テキスト改定版 3級